

第3回定時総会と記念講演会を開催 専務理事に新たに関根俊幸氏が就任



齊藤副会長の挨拶

全国ブロック建築技能士会連合会(会長＝柳沼喜廣氏)は、11月1日午後3時から東京・四ツ谷の主婦会館・プラザエフで第3回定時総

会を開催した。当日は柳沼会長が9月に腰の手術を受け、リハビリ中のため欠席となったことから、斎藤康夫副会長が総会の議長を務めた。

はじめに斎藤副会長が、柳沼会長の挨拶を次の通り代読した「ブロック建築技能士の育成と地位向上を目的に令和4年秋に設立し、今期で3期目を迎えました。また産声を上げたばかりで主だった成果ありませんが、JCBA70周年の記念行事としてブロック技能トライアルを実施しましたが、その競技の様子をYouTube動画で一般の方々に公開しておりますが、このほど再生回数が1万回を越えました。また千葉県幕張で開催されたEXG2024の出展社テーマ展示コーナーで施工デモンストラーションを実施して、来場者にブロック建築技能士の技を披露しました。この様にまだ微力ですが着実にブロック建築技能士のPRに繋がっているものと自負しております。

一方、ブロック建築技能士検定ですが、コロナ禍の令和2年に受検者数が77名まで落ち込んでしまい、リスタートの状態にあります。受検者数が公

表されている令和5年は208名まで復活しており、着実に受検者数が戻ってきており今後を期待をしている」と現状を報告した。

さらに少子高齢化について「日本は少子高齢化社会に突入し、人口減少が本格化している。特に労働人口の減少が顕著となる中、若い人達をどうやって集めるかが様々な業種で課題となっている。ブロック工事は外作業のため、どうしても若い人達から敬遠される仕事ですが、自分がやった仕事が形となって残りやりがいを実感できる仕事であります。厳しい中ですが若い人達に憧れを持ってブロック業界に入って頂くために引き続き努力をしていきたい。

是非、皆さんの知恵や体験を聞かせて頂いて、ブロック建築技能士の輪が広がるように取組んでいきたいと思っておりますので、今後ご支援、ご協力の程、宜しくお願い致します」と挨拶を代読した。

さらに賛助会員の(一社)全国建築コンクリートブロック工業会の柳澤佳雄顧問が「ブロック建築技能士検定の受検者数がコロナ禍前に戻りつつありますが、我々JCBAとしても、施工者団体の中心的役割を果たす全国ブロック建築技能士会連合会と共に手を携えてブロック業界の発展を目指していきたいと思っておりますので引き続き宜しくお願い致します」と挨拶を述べた。

続いて総会議案の審議に移り、令和5年度事業報告と収支報告、監査報告、

令和6年度事業計画と収支予算案を審議して何れも原案を承認した。また任期満了に伴う役員改選では柳沼会長らが再任されたほか、専務理事の藤井秋男氏が退任し、新たに関根俊幸氏が専務理事に就任して、総会議案を終了した。

総会後の記念講演では「命を守るブロック塀」と題して古賀一八先生(元福岡大学教授)が講演して全ての行事を終了した。



総会後の講演会

MEX が恒例のセミナーを開催 関係者が多数参加して熱心に聴講

(一社)首都圏エクステリア協会・MEX(会長=小林義幸氏)は、12月7日15時30分から東京・四ツ谷の主婦会館・プラザエフで2024年度セミナーを開催した。当日は協栄ジェネックスの寺村均氏(防災士)を講師に招いて「災害を知れば防災が出来る」と題してセミナーを実施した。講師の寺村氏はセミナーで、地震に焦点を当てた災害リスクについて解説。また企業や個人が備えるべき具体的な防災対策について、実践的なアドバイスを交えながら判りやすく解説した。

セミナー終了後は、講師の寺村氏を交えて忘年会を開催した。冒頭、小林会長が「防災セミナーは我々MEXにとっても非常に意義深いテーマで、次年度の活動にも活かしていきたい」と述べた。



講師の寺村均氏



MEXが開いたセミナー会場